

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	080	計画の着実な推進に向けたPDCAサイクルの充実				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			担当部署課名	政策総務部 政策課
	基本施策	02	経営的な視点に立った市政運営			
めざす姿	行政評価制度を中心としたPDCAサイクルの充実を図ることで効率的・効果的な行政運営が行われるとともに、計画の進捗状況が積極的に情報発信され、総合計画の進行管理に市民が関わっています。これらのことから、市民ニーズを捉えた上で総合計画で掲げた各施策が着実に実施され、その成果が広く市民に行き渡っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	14,726,000	9,697,000	12,571,000	16,817,000	13,479,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	14,726,000	9,697,000	12,571,000	16,817,000	13,479,000	
予算現額	14,726,000	4,683,000	22,559,000	16,768,000	0	
決算額	13,883,864	4,526,655	21,724,096	14,865,699	0	
国庫支出金	0	0	9,420,444	0	0	
都支出金	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	13,883,864	4,526,655	12,303,652	14,865,699	0	
執行率	94.3	96.7	96.3	88.7	0.0	
(人件費)						
職員数	5.98	5.94	6.92	6.31	0.00	
職員人件費	47,789,417	45,196,896	53,939,375	49,152,711	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	300,089	280,735	359,959	583,227	0	
総コスト	61,973,370	50,004,286	76,023,430	64,601,637	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
基本計画で掲げた各施策の進捗状況	-	実績	78.6	75	73.8	-	95
	%	達成率	82.7	78.9	77.7	0.0	
基本計画で掲げた”主要な事務事業”の実施率	-	実績	85.7	83.3	81.1	-	95
	%	達成率	90.2	87.7	85.4	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

第6次府中市総合計画に掲げた各施策（本施策を除く。）の進捗状況として、84施策のうち63施策が順調に進捗している。また、主要な事務事業の進捗状況として、175事務事業のうち、142事務事業が順調に進捗している。平成29年度に目標達成することができるよう、遅れが生じている事業について、進捗状況を正確に把握し、対応していく。

4 施策の進ちよく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	
達成できている点	▼基本計画で掲げた各施策の進捗状況について、全体としては順調に推移している。 ▼基本計画で掲げた“主要な事務事業の実施率”について、全体として順調に推移している。	▼基本計画で掲げた各施策の進捗状況について、前年より若干下がったものの、全体としては順調に推移している。 ▼基本計画で掲げた“主要な事務事業の実施率”について、前年より若干下がったものの、全体として順調に推移している。	▼基本計画で掲げた各施策の進捗状況について、前年より若干下がったものの、全体としては順調に推移している。 ▼基本計画で掲げた“主要な事務事業の実施率”について、前年より若干下がったものの、全体として順調に推移している。	
達成できていない点	▼遅れが生じ、目標達成することが難しい状況となっている施策や事務事業があるため、進捗状況を正確に把握する必要がある。	▼遅れが生じ、目標達成することが難しい状況となっている施策、特に前年から進捗状況が下がった施策について、進捗状況を正確に把握し、修正していく必要がある。	▼前年に比べて指標「基本計画で掲げた各施策の進捗状況」、及び指標「基本計画で掲げた“主要な事務事業の実施率”がいずれも下がってしまったため、進捗状況を正確に把握し、軌道修正していく必要がある。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>▼平成20年度に第5次府中市総合計画後期基本計画に合わせて行政評価システムを導入して、施策評価を開始、平成25年度に第6次府中市総合計画前期基本計画に合わせて行政評価システムを改修し、総合計画の進捗状況に係る評価やPDCAサイクルの流れを明確化した事務事業評価の結果を、政策会議や予算編成に反映するための基礎を構築してきた。</p> <p>▼政策会議について、平成25年度からは当該会議で「市政運営及び予算編成に関する基本方針」を策定することで、各部における翌年度の施策展開や予算要求の構想に統一的な視点を導入することが可能となった。さらに同方針の公表は、政策決定過程で市の方向性を対外的に示す機会となった。</p> <p>▼第6次府中市総合計画前期基本計画の着実な実現を目指して、施策の進捗状況等を把握するための取組を実施した。具体的には、重点プロジェクトの進捗状況評価及び公表、行政評価（事務事業評価）の実施及び公表、総合計画に関する市民意識調査の実施及び公表に取り組んだ。</p> <p>また、平成25年度は第5次府中市総合計画後期基本計画の最終年度であったことから、今後の市政運営の改善に向けた取組の中で活用するため、計画に基づく施策展開によって得た成果や積み残した課題等を検証する総括評価を行った。</p> <p>さらに、平成26年度に実施した平成27年度予算編成においては、第6次府中市総合計画における重点プロジェクト、主要な事務事業又はその他事業といった優先度別階層に即したシーリング率の設定を行った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>▼平成27年度以降については、行政評価制度において各施策や主要な事務事業の進捗状況を把握することが可能となることから、同制度との連動を強化する観点から、これらの進捗状況を政策会議での政策的判断に活用することが必要となる。</p> <p>▼今後も、第6次府中市総合計画前期基本計画における施策の進捗状況等の把握に取り組むとともに、予算編成においては優先度別階層に即したシーリング率を設定するなど、引き続き、計画の進捗状況を政策決定・予算編成過程に連携・連動させることが課題である。</p>
今後の展開
<p>▼市民意識調査や施策評価・事務事業評価を引き続き実施するとともに、第6次府中市総合計画で重点的かつ優先的に推進することを掲げた重点プロジェクト対象事業については、綿密な進行管理を行う。</p> <p>▼事務事業点検を水平展開するため、この経験で得られた見直しの視点等を、新たに行政マネジメントサイクル及び行財政改革の取組に取り込んでいく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 総合計画推進事業	30		14,202,000	12,549,875	10,861,000	第6次府中市総合計画の進行管理を的確に行い、計画に基づいて各種の施策や事業等を着実に推進す	B	1
2 企画調査事業	30		2,196,000	1,945,857	2,201,000	施策及び事務事業を円滑に推進するため、庁内での全体的な調整及び新たな行政課題への対応を行	B	1
3 総合戦略推進事業	10		419,000	369,967	417,000	府中市の総合戦略及び人口ビジョンの策定・進行管理を推進する。	B	1
4 政策推進事業	30	○	0	0	0	PDCAサイクルの中心となる行政評価制度を活用し、各種意思決定機関での審議を経て政策決定を	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			16,817,000	14,865,699	13,479,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	081	長期的視点に立った公共資産の維持・活用				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			担当部署課名	行政管理部 建築施設課
	基本施策	02	経営的な視点に立った市政運営			
めざす姿	市が保有する公共資産を維持・管理するだけでなく、経営資源として捉えて積極的に活用するとともに、費用と公共サービスの適正化に向けた見直しを図られることにより、限られた経費の中で、最大限の市民サービスを提供できる仕組みが整っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	3,455,716,000	5,673,301,000	4,484,170,000	4,089,662,000	3,780,072,000	
国庫支出金	149,600,000	176,516,000	371,038,000	348,660,000	224,740,000	
都支出金	120,477,000	115,979,000	358,784,000	246,750,000	166,925,000	
市債	100,000,000	991,000,000	1,361,000,000	1,069,000,000	1,187,400,000	
その他	1,959,109,000	3,195,665,000	1,246,403,000	1,223,139,000	1,038,583,000	
一般財源	1,126,530,000	1,194,141,000	1,146,945,000	1,202,113,000	1,162,424,000	
予算現額	3,272,263,000	3,853,034,000	2,957,389,000	2,691,274,000	0	
決算額	2,922,469,678	3,620,737,695	2,657,882,967	2,584,947,424	0	
国庫支出金	150,645,600	173,940,741	436,301,286	317,785,090	0	
都支出金	108,635,000	119,316,000	382,705,000	151,050,000	0	
市債	36,000,000	1,315,600,000	251,000,000	224,000,000	0	
その他	1,588,770,783	886,242,856	495,656,077	1,059,159,623	0	
一般財源	1,038,418,295	1,125,638,098	1,092,220,604	832,952,711	0	
執行率	89.3	94.0	89.9	96.0	0.0	
(人件費)						
職員数	37.96	38.36	38.05	38.05	0.00	
職員人件費	303,380,402	292,080,104	296,466,785	296,514,730	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	3,217,657	0	
(間接経費)						
間接経費	27,529,221	27,523,766	28,082,863	27,055,892	0	
総コスト	3,253,379,301	3,940,341,565	2,982,432,615	2,911,735,703	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
公共施設の市民1人当たりの延床面積	2.51 m ² /人	実績	2.52	2.49	2.48	-	2.51
		達成率	99.6	100.8	101.2	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

実績値の減少は、市総人口の増加により生じたものであり、施設数の減少によるものではない。施設の現状は、ほぼ横ばいの状況と捉えている。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次府中市公共施設マネジメント推進プランの策定及び個別事業への展開 ・各施設の保全予算に対する優先順位付け ・府中市庁舎建設基本計画の策定 ・新庁舎における執務室等のレイアウト方針や整備方針のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針の策定 ・各施設の劣化状況調査の継続と、調査結果を踏まえた予算配分の実施 ・新庁舎建設基本設計及びオフィスレイアウト等設計の着手 ・新庁舎敷地の測量及び地盤調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針の策定 ・市有財産活用基本方針の策定 ・府中駅周辺公共施設の利活用に関するサウンディング型市場調査の実施 ・新庁舎建設基本設計の完了と職員用自転車駐輪場の解体等の実施 	
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・施設情報の一元管理 ・新庁舎の具体的な構造や機能の設計を行う基本・実施設計 ・新庁舎の効率的な執務空間を設計するオフィスレイアウト設計 ・新庁舎の敷地の面積、高低、樹木などに関する測量調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設情報を一元的に管理し、情報の活用や分析をするためのシステム導入 ・埋蔵文化財発掘調査や職員用自転車駐輪場の解体などの新庁舎敷地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設情報を一元的に管理し、情報の活用や分析をするためのシステム導入 ・新庁舎敷地拡張部の整備 	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

【公共施設マネジメント事業】公共施設マネジメントの取組を着実に進めていくため、平成26年度には、「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」を策定した。第1次推進プランに基づく最適化の取組として、平成27年度に「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針」を、平成28年度に「学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針」を策定し、また、計画的保全の取組として、平成27年度に「府中市公共施設保全計画」を策定するほか、各施設の劣化状況調査を行い、劣化状況を踏まえた予算の優先順位付けを実施した。

（公有財産活用推進事業）平成28年度に「市有財産活用基本方針」を策定し、市有財産の活用推進に向け、新たな活用の要望の有無、市の計画等における位置付けや必要性、緊急性等を考慮した庁内要望の調査等を実施した。また、「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針」に基づく、府中駅周辺公共施設の利活用に関するサウンディング型市場調査を実施した。

【庁舎建設等検討事業】平成25年度より、組織を再編し庁舎建設担当を設置することで、今後の庁舎建設事業における推進体制の強化を図った。平成23年度に策定した府中市庁舎建設基本構想、平成24年度に示した府中市庁舎整備比較検討結果に基づき、公募市民等による市民検討協議会及び職員検討会での協議、専門委員との検討を経て、平成26年度に庁舎建設基本計画を策定した。平成27年度に、公募型プロポーザル方式により、新庁舎建設の基本・実施設計を行う設計者を選定し、平成28年10月に基本設計を完了させた。

【庁舎等維持管理事業】現状を維持しながらコスト削減に取り組んだ。本庁舎、府中駅北第2庁舎などの市有財産の維持管理が適正にできている。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

【公共施設マネジメントの推進】第2次府中市公共施設マネジメント推進プランの策定に向けて、第1次推進プランに基づく取組の効果や現状の確認が必要である。また、計画的保全の取組を効率的・効果的に進めていくため、施設情報の一元化が必要である。

（公有財産活用推進事業）公共施設マネジメントの進ちょくに伴い、新たに生み出される公共施設跡地などの市有財産の有効活用が必要である。

【庁舎建設等検討事業】現在進めている敷地の拡張について、当初の予定より遅れが生じており、事業スケジュール全体について見直しが必要である。

【庁舎等維持管理事業】適正な現庁舎維持管理、新庁舎建設等総合的な判断からコスト削減に努め、維持管理を図る。

今後の展開

【公共施設マネジメントの推進】第6次総合計画・後期基本計画等の策定状況を踏まえながら、第2次府中市公共施設マネジメント推進プランの策定を進める。また、施設情報の一元化を図るシステムの導入、運用を検討する。

（公有財産活用推進事業）市有財産活用基本方針に基づき、市有財産の有効活用を図る。府中駅周辺公共施設の利活用に関するサウンディング型市場調査の結果等を踏まえ、府中グリーンプラザについて活用方針を策定し、活用事業者を選定する。

【庁舎建設等検討事業】敷地拡張の進ちょくにあわせて、事業スケジュールを見直す必要がある。また、建替計画を検討する中で、府中駅北第2庁舎の活用について明確にする必要がある。

【庁舎等維持管理事業】経年劣化により、庁舎の修繕必要箇所が増加が考えられるが、新庁舎建設等総合的な判断からコスト削減に努めながら、現庁舎の維持管理を図る。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 公共施設マネジメント事業	30		134,000	4,485,334	13,179,000	公共施設を経営資源として捉え、総合的かつ長期的視点による費用とサービスの最適化に係る取組	A	
2 庁舎建設等検討事業	30		165,863,000	153,889,435	160,269,000	新庁舎建設等の検討	B	1
3 庁舎等維持管理事業	10		646,119,000	572,372,194	663,739,000	市有財産の維持管理、本庁舎、府中駅北第2庁舎の管理、庁用車両の管理	B	1
4 検査事務	10		210,000	187,546	168,000	市が締結する工事等の請負契約、物品の買入等の契約をした場合の契約の適正な履行の確認	B	1
5 公共用地取得事業	20		3,277,336,000	1,854,012,915	2,942,717,000	公共用地取得事業	B	1
6 公共建築物等整備事業	20	○	0	0	0	公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、府中市公有財産規則第4条第2項の規定による「工事施行	B	1
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			4,089,662,000	2,584,947,424	3,780,072,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	082	市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			担当当部課名	政策総務部 職員課
	基本施策	02	経営的な視点に立った市政運営			
めざす姿	市民との協働によるまちづくりを進める行政活動に的確に対応できる、優れた人材を採用し、適材適所に配置するとともに、人材を育成するための諸制度が充実しています。このため、職員が、市職員としての誇りと働きがいを持ち、更なる組織の活性化が図られています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	118,912,000	114,762,000	130,896,000	118,070,000	111,251,000	
国庫支出金	9,000	4,000	57,000	34,000	35,000	
都支出金	0	0	91,000	92,000	92,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	177,000	172,000	191,000	191,000	4,000	
一般財源	118,726,000	114,586,000	130,557,000	117,753,000	111,120,000	
予算現額	133,966,000	132,581,000	130,803,000	121,404,000	0	
決算額	118,778,624	123,042,704	119,772,821	113,855,450	0	
国庫支出金	34,000	30,000	4,000	21,000	0	
都支出金	22,000	50,000	53,170	60,850	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	112,100	183,732	181,684	184,840	0	
一般財源	118,610,524	122,778,972	119,533,967	113,588,760	0	
執行率	88.7	92.8	91.6	93.8	0.0	
(人件費)						
職員数	15.31	14.30	14.67	16.51	0.00	
職員人件費	122,357,386	108,860,234	114,271,564	128,676,203	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	1,554,463	1,494,048	1,551,581	1,506,289	0	
総コスト	242,690,473	233,396,986	235,595,966	244,037,942	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
職員の応対等に満足している市民の割合	83.2	実績	79.4	87.7	85.8	-	90
	%	達成率	88.2	97.4	95.3	0.0	
採用された職員提案数	-	実績	11	14	13	-	20
	件	達成率	55.0	70.0	65.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

【職員提案】「採用された職員提案数」は昨年度よりも若干減少している。目標値達成のため、提案件数の増加につながる見直しを検討していく。
 【人事・研修事務】市民満足度が若干減少している。接遇対応に関する研修を実施しているが、今後は職員が自発的に接遇意識を高める仕組みが必要と考える。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	やや遅れているが、概ね順調	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	
達成できている点				
達成できていない点	<p>▼平成26年度の指標実績では「採用された職員提案数」が目標値に達していない。</p> <p>▼市民満足度が目標に達しておらず、また、基準値よりも大幅に下がっている。</p>	<p>▼「採用された職員提案数」は目標値には達していないが、昨年度に比べて増加した。</p> <p>▼市民満足度が昨年度に比べ、大幅に上がり、過去最高水準となった。</p>	<p>▼「採用された職員提案数」は目標値に達しておらず、昨年度に比べて若干減少した。</p> <p>▼市民満足度が昨年度より若干減少した。</p>	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>【職員提案】 昭和40年に始めた事業であり、等級について平成14年度まで特1級及び1級から5級の等級としていたが、平成15年度に6級を創設し、平成22年度に特別級を創設した。また、平成26年度には、制度の抜本的な見直しを行い、提案の種類を「じっくり提案」、「ひらめき提案」、「業務改善グランプリ」に分類して、種類ごとに審査方法や等級を設定した。</p> <p>【人事・研修事務】 平成25年度より、これまでC I連絡会が実施していた市民アンケートを、新任職員研修の一環として、ヒアリング形式に変更して職員課で実施している。平成29年度までに市民満足度を90%まで上げる目標を掲げているが、平成26年度までは低下傾向にあった。そこで、平成27年度は窓口対応が多い所属（19箇所）に対し、接遇対応職場内集合研修を実施し、接遇の大切さ等についての認識を深めた。その結果、平成26年度より12.8ポイント増加し、過去最高水準になった。平成28年度においても引き続き接遇対応職場内集合研修を実施（14箇所）し、職員の接遇意識向上に努めた。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>【職員提案】 指標としている「採用された職員提案数」は昨年度に比べ若干減少してしまったため、提案数が増加するよう職員への周知を図っていく必要がある。</p> <p>【人事・研修事務】 平成27年度に市民満足度が過去最高値となったが、平成28年度は若干減少してしまったため、引き続き接遇に関する研修を実施して職員の接遇意識の向上を図る必要がある。また、職員が自発的に接遇意識を高めるための仕組み作りを検討していく必要がある。</p>
今後の展開
<p>【職員提案】 職員の改善提案により行政運営の効率化と市民サービスの向上を図るための制度とするため、引き続き見直しを進めていく。</p> <p>【人事・研修事務】 中堅職員向けの接遇研修及び接遇対応職場内集合研修を引き続き実施するとともに、職員一人ひとりが日頃の接遇を振り返るための「接遇対応チェックシート」を作成・配布し、職員の接遇意識の向上に努める。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 職員福利厚生事務	10		40,647,000	38,109,958	34,911,000	職員の健康管理のための産業医による健康相談、各種検診及び被服貸与等	B	1
2 人事・研修事務	10		77,378,000	75,692,720	76,295,000	職員の人事及び研修に関する事務	B	1
3 府中の魅力発信運動推進事業	30		45,000	52,772	45,000	職員一人ひとりが、自発的に府中の魅力を再発見し、それを市の内外に発信して「府中のイメージア	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			118,070,000	113,855,450	111,251,000			